別紙様式１

令和７年度　指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立あすたむらんど	施設所在地	板野郡板野町那東字キビガ谷４５－２２
指定管理者名	株式会社ネオビエント	指定期間	令和３年４月１日～令和８年３月31日
施設所管課	交流拠点戦略課 施設活用推進室	【連絡先】	088-621-2148

１　施設の概要

設置年月日	平成13年７月１日
設置目的	科学に関する体験及び人と人との交流の場を提供することにより、創造性豊かな青少年の育成及び県民の余暇活動の充実に資するため。
施設内容	吉野川めぐり、子ども科学館（プラネタリウム）、くつろぎ館、冒険の国、探検の国など
利用料金等	徳島県立あすたむらんどの設置及び管理に関する条例に定めるとおり
開館日・休館日等	８月12日から８月15日までを除く期間の水曜日（水曜日が祝日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）とする。

２　指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	・あすたむらんどの設置及び管理に関する条例第２条各号に掲げる事業の実施に関する業務 ・あすたむらんどの施設等の維持管理に関する業務 ・あすたむらんどの利用の許可に関する業務 ・あすたむらんどの使用料の徴収に関する業務 ・その他あすたむらんどの管理に関し、知事が必要と認める業務

３　施設の管理体制

管理体制	正職員　49　名　臨時職員　12　名　計　61　名 （内訳） ・正規職員　49名 ・パート職員　11名 ・パート非常勤　1名

４　施設の利用状況

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
利用者数（人）	R7年度	37,574	52,791	32,261	27,294	47,902	26,677	36,907	46,772	68,586	29,736	26,154	36,782	469,436
	前年度	39,099	50,891	22,490	23,385	40,088	30,098	45,268	43,032	69,767	30,605	21,726	35,273	451,722
	前々年度	42,472	57,010	25,018	32,574	47,163	30,301	46,582	33,659	78,938	31,125	25,970	33,555	484,367

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
月別利用料金収入（千円）	R7年度	5,680	7,167	3,649	5,740	12,710	3,905	4,549	2,995	5,059	3,397	2,297	3,891	61,039
	前年度	4,644	4,162	1,938	3,374	7,361	3,014	2,636	4,597	9,356	5,000	2,885	5,353	54,320
	前々年度	5,642	6,409	3,444	7,173	13,036	5,651	5,085	4,359	9,841	5,329	3,386	5,302	74,657

		カレイドシアター	吉野川めぐり	科学館	プラネタリウム	多目的ホール等	計
施設毎利用料金収入（千円）	R7年度		14,432	35,651	10,870	86	61,039
	前年度		12,582	32,287	9,355	96	54,320
	前々年度		27,233	36,847	10,289	288	74,657

５　収支の状況

（単位：千円）

項　目			R7年度	R6年度（前年度）	R5年度（前々年度）
収入	指定管理料		650,793	640,945	639,920
	光熱費補填【特殊】		－	10,225	9,240
	自主事業収入		15,316	13,643	14,010
	その他		－	4,940	2,325
	計		666,109	669,753	665,495
支出	固定費	人件費（常勤職員）	216,390	180,917	182,516
		人件費（臨時・アルバイト等）	36,261	38,978	40,320
		光熱水費	67,500	71,556	67,426
		事務所運営費	96,576	76,792	76,791
	運営費		41,132	48,964	51,593
	維持管理費	清掃費	34,074	32,879	32,824
		施設警備費	12,691	12,613	12,613
		設備運転等管理費	18,084	17,602	17,602
		建築物・工作物・備品等維持管理費	9,007	7,963	8,845
		植栽管理費	23,518	23,052	23,054
		メーカー等発注業務費	17,515	18,868	18,671
		その他の業務費	6,863	6,259	10,298
		修繕費	28,755	32,443	32,565
	その他		－	52,039	63,992
	計		608,366	620,925	639,110
収支			57,743	48,828	26,385

※項目は、事業報告書等に合わせて、適宜、変更すること。

※計画額や予算額との乖離が大きいもの、費目の内訳が分かりにくいもの等、詳細な説明が必要な場合には、別途、説明の追加や参考資料の添付など確認可能な形とすること。

【R7支出項目の補足】

建築物・工作物・備品等維持管理費	浄化槽
	浄化槽水質分析
	自家用電気工作物
	全自動ろ過
	非常用発電装置
	非常用放送設備
	空調機器
	エレベーター設備
	消防用設備
	防火対象物点検
	ホームページ等

その他の業務費	芝草木類処理
	建設廃棄物処理
	産業廃棄物処理
	汚泥処理
	可燃ゴミ処理
	衛生害虫駆除
	蛇忌避施行
	デマンド監視業務
	硬貨包装機等保守
	廃液処理
	機密文書処理

「メーカー等発注業務費」には、子ども科学館の展示物等にかかる維持管理費などを含む。

６　コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	・書式データの整理や現金引き継ぎ書の更新により、業務に係る時間を短縮でき、ケアレスミスの削減にもつながった。 ・オンラインツール活用により、交通費や紙使用量の削減、移動時間の短縮に努めている。 ・支出状況について職員全体で共有するために月例会議や担当者会議の場で協議を行い、経費削減意識の向上に努めている。 ・修繕等について、全て業者に委託するのではなく、可能なものは職員で修繕しコスト削減に努めている。 ・企業、団体との共催事業や助成金・協賛金の獲得などで経費の削減に努めている。
サービス向上の取組	・社員全員が手話講座を受講し、基礎的なことや案内に必要な表現方法を学んだ。 ・AIを用いた業務効率向上によるモチベーションアップにつながる研修を実施した。 ・サービス向上委員会を設置し、アンケートから抽出した要望を取り組みを考えて実施している。 ・アクティブシニアが持つ経験を生かし活躍できる場を設け、天文ボランティアとして活動に協力してもらうことでボランティア自身のスキル向上はもとより、イベント参加者へのサービス向上にもつなげた。 ・夏のプールイベントでは日よけテントを増設、ミストの設置、かき氷の提供など暑さ対策を行った。 ・地元の企業と協力し、かねてから要望のあった徳島のお土産を販売するようになった。 ・「利用者心得」を一部改訂し、11月から園内の一部エリアでペット同伴での来園が可能となった。

７　自主事業の取組状況

自主事業取組状況	指定管理料のみではなく、助成金の活用に努めたほか、 ・明日多夢子ども会社 ・子ども実行委員会 ・こどものまち・あい♡あいファミサポフェスティバル ・森のマルシェinあすたむらんど ・あさんウォーキングフェスタinいたの など、多くの自主事業イベントを実施することで、施設の利用促進はもとより、来園者ニーズに沿ったイベント提供に努めた。 ミュージアムショップにおいて、棚の配置換えやカプセルトイの設置により売り上げが向上した。 また、各イベント時にキッチンカーを呼ぶことで、来園者サービスの向上と収入確保につながっている。

８　管理運営業務に係る点検・評価

項　　目	評　価	点　検　結　果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・設置型アンケートやWEBアンケートに加え、SNSでもアンケート機能等を活用した。 ・利用者のニーズを把握し、内部で共有し周知している。 ・25周年に向けた来場者アンケートでは3,000件を超える意見が集まり、その結果を分析し園内とホームページ上に公開した。 ・チラシは８万部印刷し、各種施設へ配布している。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・予定どおり実施している。 ・「子ども実行委員会」「こどものまち」「四国放送まつり」「明日多夢子ども会社」などを実施。 ・継続性のある事業運営を行っている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・年間計画に基づき修繕を行っている。 ・緊急を要する修繕箇所は県へ報告後修繕を行っている。 ・備品を新規調達した際は県に報告している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・燃料費高騰の影響は大きいが、使用量自体の削減に努めている。 ・毎週の役職者会議において、見積徴収結果を報告し、対応を協議している。 ・軽微な修繕は職員が対応することで経費削減に努めている。 ・書類をデジタル化及び簡素化すること、またオンライン会議を利用することで人件費や出張費の削減をした。 ・積極的にSNSを活用し、職員自身が動画を編集するなど広報費を削減した。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・防火管理者、危険物取扱者等を配置し、安全で適正な業務執行に努めている。 ・防災訓練や外国語研修などの全体研修のほか、他施設見学など各部署での研修も実施している。 ・使用料の徴収・減免については、適正に実施し、県へ報告している。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・業務体制報告書に記載されたとおりの体制が確保されている。 ・社内ヒアリングなどを行い、健康診断やストレスチェックの受診などの声掛けをしている。産業医相談も月１回実施している。 ・育休制度など各種規程を細かく設けている。 ・法令の改定があった際は周知を行っている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・インターンシップ制度を設けるなど、職員やスタッフの地元採用に努めている。 ・中学や高校の先生から、接客スキルやコミュニケーション能力の向上といった希望を聞き、それらが期待できる部署へ学生のインターンを受け入れている。 ・技術的制約がある場合を除き、外部委託業務については県内業者への発注を優先している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・徳島県各部局、徳島県教育委員会、板野町教育委員会、大塚製薬など、各団体・企業と連携・協力し、多種多様なイベントを実施している。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・アクションカードを用いた避難訓練や緊急対応訓練を実施し、防災意識を高めた。 ・安全衛生美化検討委員会では、全社で実施している安全衛生会議とヒヤリハット記録を共有し、安全対策・意識の向上に努めた。 ・園内の他指定管理者や事業者と連携して消防訓練を実施した。 ・個人情報保護に関する規程を設けている。

項　　目	評　価	点　検　結　果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・エコアクション21を継続し、達成に向けて取り組んでいる。 ・SDGsの項目内の 「気候変動に具体的な対策を」 「海の豊かさを守ろう」 を対象とした利用促進事業を開催しており、利用者に楽しみながら環境対策を意識付けできる工夫を実施している。 ・園内の草木をたい肥にして再利用している。 ・ペーパーレス化を推進し、資源の削減に取り組んでいる。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係法令を遵守し、徳島県情報公開条例に基づく情報公開に関する規程を設けている。 ・各種法定点検などを適正に実施している。
総合評価	A	・適切な管理運営業務を行っている。 ・少子高齢化や設備の老朽化の影響を受けながらも、幅広い年齢層をターゲットにしたイベントや、子どもたちが科学を楽しむ体験など多種多様な工夫を実施することで、施設の価値の最大化に向けた管理運営を行っている。

〈評価指標〉　Ｓ：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
Ａ：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
Ｂ：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
Ｃ：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※　項目については、事業計画書と整合性をはかる。

９　その他（今後の課題及び対応等）

・ペット同伴での来園が可能となり利用者サービスの向上に寄与した一方で、衛生面や安全面の配慮を求める声も見受けられるため、より適切な運用となるよう検討を重ねていく必要がある。
・施設や設備の規模が大きいため、光熱費高騰の影響を大きく受けている。設備修繕の判断をその都度見極めていく必要がある。
・老朽化が進んでいる各遊具や展示については事故がないように、メンテナンスと計画的な修繕を心がけて運営していく必要がある。